

はじめに

本書は、「近代的ノーシス」の創始者であるサマエル・アウン・ベオールの三つの著作及び二つの講演録を納めたものである。

彼が明らかにしたノーシスの基本は、第一に性の秘密であり、第二にそれに伴った心理の浄化、つまり心理的ワークである。前者については日本ですでに出版された『完全なる結婚』、後者については『ノーシス心理革命』が詳しい。

本書ではノーシスの主要なエクササイズがほとんど網羅され、マントラの活用、ルーン、若返りのチベット秘儀などが解説されている。また、処女懐胎の神秘に光を当てた『カルメルの乙女の書』も納められている。あわせて参照して頂ければ、ノーシスへの理解が深まると思う。

ロゴス・マントラ・テウルヒア

魔術師ヨハネが導き手となって、ロゴス、マントラ、テウルヒア（魔術）を詳しく述べている。クングリニーを覚醒させ、光の言葉を話せるようになれば、どのような能力が発揮できるかをヨハネ自身が身をもって証明している。サマエルの著作の中では最も物語り風で、読みやすい作品に仕上がっている。

著者は最後にこう述べている。「蛇と共に働く仕事はすべて『ロゴス・マントラ・テウルヒア』に属する。そのため、言葉を性と切り離すことはできない。絶対なる確信をもって言うが、言葉と性は密接な関係にある」。

言葉と性のうち、『完全なる結婚』では“性”に焦点が当てられたが、この著作では“言葉”に焦点が当てられている。

パワー・オブ・マントラ

サマエルがマントラの力について語った小本である。『ロゴス・マントラ・テウルヒア』と重複する点もあるが、マントラについてのわかりやすい解説になっている。合わせて参照してほしい。